

- 我が国は2013年に史上初めて訪日外国人旅行者数1000万人を達成。先般の観光立国推進閣僚会議において、安倍内閣総理大臣より、「2020年に向けて、2000万人の高みを目指す」とのご指示をいただいた。(2014年1月17日)
- 2000万人時代の日本の絵姿を明らかにした上で2000万人の高みを目指すための環境整備等について、具体的に取り組むべき政策の方向性をご議論いただく。

議論の進め方

第1回

第2～3回

第4～5回

1. インバウムの現状と今後の予測

① 観光をめぐる現状

- ・国内観光旅行の現状と見込み
- ・今後の国際観光市場の見込み

② 訪日外国人旅行者数の見込み

- ・モデルによる予測
- ・各国の外国人受入状況から見る「2000万人」の意味
- ・首都圏空港と主要観光地の宿泊施設の容量

③ インバウンド政策による経済効果

- ・訪日外国人による旅行消費
- ・MICE誘致・開催による効果
- ・2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて

2. 2000万人時代の日本の絵姿と2000万人の高みを目指すための環境整備等について

① 訪日プロモーションの強化等

- ・プロモーション対象市場
- ・プロモーションの中心的役割を果たすJNTOの体制
- ・ビザ要件の緩和効果等

② 宿泊施設の稼働状況

③ 日本の空港容量及び国際線ネットワーク

④ 魅力ある観光地域づくり

- ～我が国の観光地としての層の厚みを増すために
- ・国・自治体・民間事業者の役割分担
- ・外国人旅行者に不便な規制や障害の徹底的な洗い出し

中間
とりまとめ

2月24日 観光分科会(1)

インバウンドの現状と今後の予測

3月28日 観光分科会(2)

2000万人時代の日本の絵姿と 2000万人の高みを目指すための環境整備等について

- ①訪日プロモーションの強化等
- ②宿泊施設の稼働状況
- ③日本の空港容量及び国際線ネットワーク

4月8日 観光分科会(3)

2000万人時代の日本の絵姿と 2000万人の高みを目指すための環境整備等について

- ④魅力ある観光地域づくり

～我が国の観光地としての層の厚みを増すために

5月16日 観光分科会(4)

中間とりまとめに向けて、観光白書

6月27日 観光分科会(5)

中間とりまとめ